



蒲郡文化

No.202

蒲郡市栄町3番30号

蒲郡市文化協会

TEL・FAX(0533)68-5509

URL <http://www.gamagorishibunkyo.jp>

E-mail g.bunka@lion.ocn.ne.jp

文化と切手

前蒲郡市議会議長

文協特別会員 新実祥悟



私の趣味は切手集めです。50年も前の事ですが、近所のそろばん学校の先生から分けてもらったのが始まりです。一枚5円、10円程度のもんですが、当時は芋コロッケ一つ10円という時代でした。小学校から帰ると、腹が減っていたので母親から小遣い10円をもらってコロッケ屋さんに行っていたものでした。

この貴重な10円を、どうしてそろばん学校の先生に提供してしまったのでしょうか。子供の小遣いを巻き上げるほど彼の口がうまかったとは思えません。大体、そろばんは苦手でサボってばかりいた口なんです。

空腹を抑えてまで切手を買ったのは、たぶん、子供心に切手の図柄の美しさや、見たことのない社会の造形、出来事に心を奪われたのかもしれない。小学校での社会の勉強は何をやっていたのか全然覚えていませんが、

新幹線を初めて見たのも自然を大切にしようとしていることを知ったのも切手を通じてでした。

ただ、その当時に買ったものは後にほとんど使ってしまいました。結果として、コロッケを食べておけば良かったのかもしれない。



東海道新幹線開通記念
1964年発行@60郵趣

しばらく切手集めをしていっていませんでしたが、再び集めたのは30歳を過ぎた頃でした。海外取引をするにあたり手紙のやり取りを通じ、印象に残る切手を目にするものがありませんでした。切手一枚が全世界を巡っていることを実感したものです。海外出張の際、会社宛の手紙に切手を手にしたこともありました。

私のお気に入りには皇室関係、富士山、浮世絵です。外国人が日本の印象はと言えば、まず出てくるのはこの三つではないでしょうか。とは言ってもこのことを外国人と話したことはないのですが、能、歌舞伎、俳句、書、お茶、生け花など文化に関する切手もたくさんあります。集めきれないので三つに絞っているというのが本音です。

今では戦前の切手を買集めたりしています。当時の社会情勢や文化を垣間見ることが出来ます。中国、台湾、韓国、東南アジアとの関係など、手に取るようにわかります。ただし、大人買いとはいきません。趣味で収集する部類のものでも2万円、3万円したり、これは揃えるべきだと言われるものが30万円もしたりするからです。数百万円とか数千万円もする切手もありますが、こちらは完全に投機対象ですね。カタログで目にするのではなく、たまにお宝鑑定団で見るといいです。切手集めも文化の一つだと思えます。将来に向けて発展、継続させるには、関わる人がたくさんいることが大切だと思います。切手収集家はシーラカンス状態です。これから人知れず一枚ずつ集めていこうと思います。



第一次国立公園「富士箱根」
1936年発行@5040郵趣

平成28年度 文協表彰紹介

4月23日の総会において次の1団体と5名の方が表彰されました。受賞者の略歴等はホームページに掲載しております。

《文化賞》

蒲都市シニア吹奏楽団

【洋楽部会】



《功労賞》

小田 勝

【絵画部会】



《功労賞》

牧野 一古

【俳句部会】



《功労賞》

尾崎 庄一

【吟剣詩舞部会】



《功労賞》

神田 あき子

【短歌部会】



《功労賞》

近藤 佐代子

【工芸部会】



総会記念公演

日本舞踊子ども教室

小さい頃から、踊る

楽しさ、着物

物姿の美し

さに親しん

できた小学

生八名によ

る日本伝統

芸能のひと

つである日

本舞踊を披

露しました。



文協総会(東ホール)
役員116名の出席のなか無事終了

〈平成27年度〉 事業報告および収支決算報告

- ・春の文協まつり 4月29日～5月24日
- ・文協講座「水墨画」「俳句」「アートフラワー」「書道」の4講座
- ・市民文化祭 10月31日～11月23日・文化財めぐり11月19日
- ・機関紙「蒲郡文化」197号～200号まで4回発行
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 28年2月28日名古屋室内管弦楽団「映画音楽と歌声喫茶」
- ・県文連芸能大会（東三河部）7月5日豊橋市で開催 邦楽部会（和太鼓 響）出演
- ・県文連美術展 9月29日～10月4日愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・愛知県民茶会 10月18日扶桑町で開催

【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額(円)	説 明	項 目	支出額(円)	説 明
1. 繰 越 金	346,877	前年度繰越金	1. 会 議 費	90,550	総会費、役員会費、その他会議費
2. 会 費	2,523,900	正 会 員 1,000円×1,859名 18歳未満会員 300円×133名 特 別 会 員 5,000円×125口	2. 事 務 費	2,483,098	事務局費、旅費、印刷費、消耗品費、 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金
3. 事 業 収 入	2,024,400	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事 業 費	4,144,194	機関紙発行費、催事費、文化事業費、 文化振興費、事業奨励費
4. 補 助 金	1,100,000	蒲郡市	4. 予 備 費	0	
5. 負 担 金	1,500,000	市民文化祭、芸能大会	5. 積 立 金	540,000	周年事業費、交流事業費 職員退職金、文化事業費
6. 雑 収 入	59,944	利息、楠若葉売上等	6. 残 高	297,279	次年度へ繰越
収入合計	7,555,121		支出合計	7,555,121	

〈平成28年度〉 事業計画および収支予算

- ・春の文協まつり 4月29日～5月29日
- ・文協講座「舞踊」「三味線」「陶芸」「水石」「書道」の5講座
- ・市民文化祭 11月3日～11月23日・文化財めぐり11月16日
- ・機関紙「蒲郡文化」を4回発行 4月15日、7月15日、10月15日、1月15日
- ・市民会館・市民病院のギャラリー・市役所玄関生け花展示
- ・文化事業 29年2月26日
- ・愛知県民茶会 11月13日 岡崎市で開催
- ・県文連美術展 11月15日～11月20日愛知県美術館ギャラリーで開催
- ・県文連芸能大会（東三河部）11月27日田原市で開催

【収入の部】

【支出の部】

項 目	収入額(円)	説 明	項 目	支出額(円)	説 明
1. 繰 越 金	747,279	前年度繰越金、 文化交流・文化事業積立金	1. 会 議 費	120,000	総会費、役員会費 その他会議費
2. 会 費	2,431,000	正 会 員 1,000円×1,770名 18歳未満会員 300円×120名 特 別 会 員 5,000円×125口	2. 事 務 費	2,488,000	事務局費、旅費、印刷費、消耗品費、 通信連絡費、備品費、慶弔費、負担金
3. 事 業 収 入	1,915,000	講座参加費、楠若葉投稿料 文化財めぐり、県美術展出品料 文化事業入場料	3. 事 業 費	5,141,000	機関紙発行費、催事費、県文連事業費、 文化事業費、文化交流費、 文化振興費、事業奨励費
4. 補 助 金	1,345,000	蒲郡市	4. 予 備 費	61,000	
5. 負 担 金	1,500,000	市民文化祭	5. 積 立 金	140,000	周年事業、職員退職金 浦添市文化協会交流
6. 雑 収 入	11,721	利息等			
収入合計	7,950,000		支出合計	7,950,000	

まつり



表・裏千家、薫風流と3席がそれぞれ趣向を凝らした茶席となっていた。



出品作品の多様化が目立ち、大・中・小バランス良く展示され、充実した作品展となっていた。



ふれあい茶会 会議室 1・2・3

5月22日



盆栽・皐月展 大会議室

5月28日・29日

出品点数 盆栽 40点 皐月 28点

水石展 中会議室

5月28日・29日

出品点数 27点

第三十一回蒲郡俊成短歌大会

蒲郡市教育委員会賞

鈴木 憲治

地下鉄の出口をけふはまちがへて
見慣れぬ景色の街にとまどふ

入選

齋藤とし子

ひらがなで書き留めし歌懇ろに
漢字当てゆくひと日の終わりに

鈴木しまえ

かたわらに声なく夫座り居る
ただそれだけの日々のなつかし

太田 文子

農業を継ぎたる息子さつそうと
軽トラに乗る長靴はきて

奨励賞

石田 文子

「いつまでも私をあてにしないで」と
夜間救急に嬬の声する

加藤美美代

手術日は三週間後亡き母の
生日と決めこころ落着く

田邊 節子

洗い上げ箆に水切る白ネギの
何時しか窓の明るさに立つ

中村 文子

秋の野を歩めば草の実まとひつく
ひつつき虫といふ名もありて

夏目富美子

年毎に寒さが身に堪へつつ



春の文協



芸能発表会 中ホール

5月29日(日)

出演者総数 452 名
参観者が多く良かった。
客席からの応援・拍手がありやりがいがあった。



観客に楽しんでもらえるよう、出演者も裏方をする人も皆、心を合わせ一生懸命です。一人でも多くの人に見て頂けたらと思っています。



俳句大会

蒲郡市長賞

稲吉 園江

横揺れの一輛電車麦の秋

蒲郡市議会議長賞

平野 京子

薫風や初の子に折る紙兜

蒲郡市教育委員会賞

平野 京子

帆を畳む父と子の影花とべら

蒲郡市文化協会賞

小田 智子

不器用な傘寿の夫に薔薇の束

中日新聞社賞

金澤 房子

燕の巣世界遺産の土もらひ

晩鐘の今日よくとどく桐の花

大場 安子

山影の映りし棚田ほととぎす

蒲郡新聞社賞

神尾 朴水

跳箱はクラス一番風薫る

立川 美子

朝まだ暗き工場に立つ

水野 絹子

この冬も亡き父の湯たんぼしのぼせむ
母の蒲団のその右脇に

離り住む子よりの電話に傍らの
妻は耳よせ共に聴きたり

吉見 宏

文協会員のみの掲載
(詳細はホームページ)

まつり

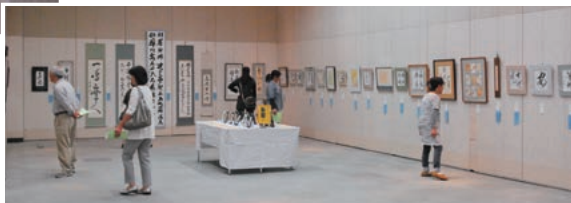
書道・工芸展 東ホール

5月20日(金)～22日(日)
出品点数 書道 135点 工芸 121点

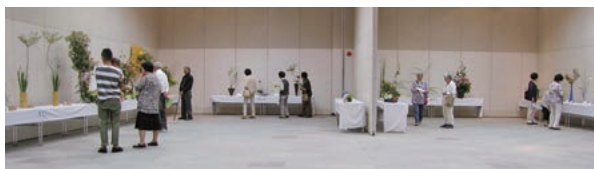


華道展 東ホール

5月28日(土)・29日(日)
出品点数 70点



出品点数が多く、展示に毎回苦勞していると思うが、みな楽しく作品に見入っていた。



出品数は少なかったが、明るい作品が多く良かった。お茶席もあり、多くの参観者で賑わっていた。



文化の継承

書道部会 大竹 翠葉

「文化の継承」というお題をいただき、改めて考えてみました。私のもっている辞書によると、文化とは「真理を求め常に進歩・向上をはかる、人間の精神活動」とありました。

雑務に追われる生活の中でそんなことを考えながら過ごしている人は少ないでしょう。ただそんな忙しい生活の中で、彩りを加えたいと趣味をもつ、そういった方が多いのではないのでしょうか。

その趣味を充実させるためには、「師」という存在が大きくなってくると思います。中には、「自己流で…」という方がみえるかもしれませんが、よく考えてみてください。趣味に関する本を読んだり、展覧会に足を運んでみたり、同じ趣味の仲間とお話をしてみたり、それらのことすべてが、自分を向上させる「師」となるわけです。俳句や短歌、踊りや音楽、いろいろな趣味を持っている方もみえるでしょう。一旦習い始めると、もっと上手になりたい、もっと師に近づきたい、そんな感情になってきます。



碩山書院一門展は今年で50周年を迎えます。写真は32回展にて～

私自身、生まれた時には既に、祖父と母が書道教室をやっておりましたので、幼い頃から環境には恵まれてきました。しかし、小学生、中学生の頃は正直「やらされている」感じが強く、ただ情性的に筆を持つてお稽古をしている状態でした。高校三年生で自分の進路を決めたときに私は生涯の「師」と出会いました。今まで身内にやらされていたものが、初めて自分の向上したい欲求に変わったのです。

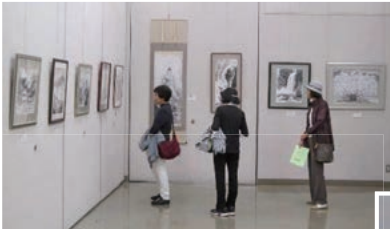
今でもその欲求は続き、日々努力をしています。さらに自分が「師」となって皆さんに教える立場になりました。少しでも皆さんのお力になれるよう、精進していきたいと思えます。

博物館ギャラリー会場



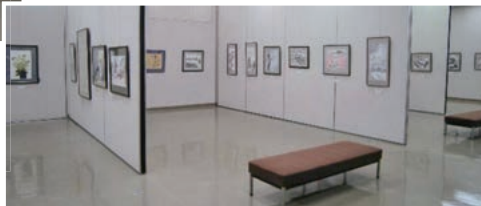
絵画展

5月13日(金)～15日(日)
出品点数 54点



水墨画展

5月27日(金)～29日(日)
出品点数 75点



春の文協

写真展

5月20日(金)～22日(日)
出品点数 57点

出品点数が少なくなったが、
皆さんの努力でレベルは上
がっているように思う。

あるさと文化財の謎(五)

形原松平家ゆかりの

光忠寺

西浦町北馬場にある法林山
光忠寺は、浄土宗鎮西派(本
山知恩院)である。

ご本尊は阿弥陀如来で、開
山は不詳だが、元龜三年松平
家の祖、紀伊守光重が寄進し
建てた寺と言われている。

永正二年(一五〇三)に形
原松平家二代貞副さだすけが父の形原
松平初代與副ともすけの菩提を弔うた
めに建立した。寺名は與副の
法名「玉峯院殿前佐州信譽光
忠大居士」の「光忠」の二字
を取っている。しかし現存の
位牌には「光忠」が「叟元」
となっている。

光忠寺には初代與副、二代
貞副、三代親忠、四代家廣、
五代家忠までが祀られる由緒
ある寺である。

国替で六代家信から下総国
佐倉藩・摂津国高槻藩・丹
波国篠山藩を経て十一代信岑

から亀岡藩(京都府亀岡市)
に移り十八代信正まで八代
一二一年間幕末まで亀岡を治
めていた。そのため亀岡市の
光忠寺には形原松平家六代か
ら十八代までの墓碑がある。

西浦の光忠寺には阿弥陀如
来坐像、薬師十二神将四天王
十七軀、毘沙門天立像、吉祥
天立像、弘法大師坐像、善導
坐像、法然坐像など江戸時代
作の仏像が祀られている。寺
庭のクロマツは蒲郡の名木に
なっており、江戸時代からの
寺の隆盛を示すものである。

現住職は第二十三代佐久間
和宏順誉師である。(林 正夫)



お 知 ら せ

歌・句集「楠若葉35」投稿募集

- 【投稿規定】 一人5首または5句
用紙は、文協事務局・各公民館にあります。
- 【投稿料】 500円(1冊配本)
- 【締 切】 7月29日(金)
- 【申 込】 投稿料を添えて文協事務局へ

第41回県文連美術展出品作品募集

- 【作品受付】 10月3日(月)～17日(月)
日本画・洋画・工芸・彫塑・書
- 【会 期】 11月15日(火)～20日(日)
- 【搬 入】 11月4日(金)
- 【搬 出】 11月21日(月)
- 【出品料】 4,000円
- 【申 込】 出品料を添えて文協事務局へ。

文化財めぐり参加者募集

- 【行 先】 大池寺庭園(甲賀)と瑞龍寺(近江八幡)
大池寺 蓬萊庭園(小堀遠州作と伝えられる)
サツキの大刈込み鑑賞式枯山水庭園
本尊 釈迦如来(半丈六の坐像)
瑞龍寺 日蓮宗唯一の門跡寺院、境内からは近
江八幡や琵琶湖を一望できる
近江八幡散策
ボランティアガイドにて案内
- 【日 時】 11月16日(水) バス2台
- 【参加費】 8,800円
拝観料・ロープウェイ代・弁当代含む
- 【締 切】 10月13日(木)
- 【申 込】 直接文協事務局へ来ていただくか、往復はがきにて。参加費は後日納入。

市 民 会 館 の 催 し 物 (問合せ TEL67-5151)

月例茶会 席主:大場宗由	7月17日(日)
邦楽コンサートひびきvol.8	8月27日(土)
第50回碩山書院一門展	9月10日(土)・11日(日)
月例茶会 席主:中野宗恵	9月11日(日)
池坊蒲郡地区いけばな展	9月25日(日)

図 書 館 の 催 し 物 (問合せ TEL69-3706)

英文多読講演会 図書館で英文多読を楽しもう	7月23日(土) 14:00～ 相談会15:30～
本のリサイクル	7月30日(土)～ 8月4日(木)
夏の特別展「大橋裕之と蒲郡」	8月11日(木・祝)～28日(日)
蒲郡の観光展	9月1日(木)～ 7日(水)
交通安全ポスター展	9月10日(土)～20日(火)
秋のお楽しみ展示「スタンプおじさんの切手大集合」	10月1日(土)～12日(水)
内藤勲の似顔絵ッセイ展	10月16日(日)～30日(日)

博 物 館 の 催 し 物 (問合せ TEL68-1881)

没後50年企画展「岸間芳松さんと灯火具コレクション展」	7月29日(金)～ 8月28日(日)
夏休みミニ企画展「妖怪になった道具たち」	7月29日(金)～ 8月28日(日)
第8回現代水墨画合同墨彩画展	9月9日(金)～11日(日)
S L 写真とミニチュア機関車展	9月17日(土)13:00～19日(月・祝)

そ の 他 の 会 場 (問合せ TEL 68-5509)

《豊川ゆうあいの里ふれあいセンター》 第4回ふれあい一吟会	10月7日(金)
-------------------------------	----------